



市の動向を、タイムリーに掲載します

● 狭山市移住・定住プロモーション事業がスタート

本市に愛着や魅力を感じる若い世代を増やし、定住意欲を高めることを目的として、積極的な情報発信に取り組む「移住・定住プロモーション事業」がスタートしました。



その一環として、市民向けワークショップの第1回を11月11日(土)に開催しました。狭山の魅力発見をテーマに、市内の魅力を変えて掘り起こすフィールドワークなどを4回にわたり行っていきます。また、市民向けワークショップと並行して、市の若手職員によるワーキンググループの活動も始まりました。こちらはシティプロモーションを推進するため、6年3月にかけて、ブランドロゴなどの検討を行っていきます。

問合せ 企画課へ ☎2935-4627

● セコム株式会社と包括連携協定を締結

11月6日(月)、セコム株式会社と「ホームタウンパートナーシップ包括連携に関する基本協定」を締結しました。

本協定により、本市を活動拠点としている同社ラグビー部(セコムラガッツ)のホームタウンとしての意識と機運を醸成します。今後は、ラグビー教室や防犯セミナーなど同社の持つスキルを生かした取り組みについて連携を図ります。



問合せ スポーツ振興課へ ☎2946-8738

● 地場産食材を学校給食に

11月は「彩の国ふるさと学校給食月間」です。これに伴い、11月の小・中学校の給食献立には、地場産の野菜やお米を使ったメニューをはじめ「里芋コロッケ」「狭山茶揚げパン」などの狭山市らしさが溢れるメニューが登場しました。給食センターでは地産地消を推進し、給食メニューを通じて子どもたちに旬の地場産野菜の味を伝え、自分たちが生活している市内ではどういった野菜が採れるのかを知る機会を提供しています。



問合せ 入間川学校給食センターへ ☎2954-2414



題字・絵 池原 昭治氏

市長の主な動き

- 11/2・4・5…市民文化祭
- 11/8・22…定例庁議
- 11/10…ワージントン市民親善訪問団表敬訪問
- 11/12…さやま大茶会
- 11/19…総合防災訓練
- 11/20…定例記者会見
- 11/24…市議会第4回定例会
- 11/25…埼玉県西部地域まちづくり協議会設立35周年記念式典

偉人の教え、理想を胸に

来年は新札が発行されます。1万円札は近代日本経済の父と称される渋沢栄一。5千円札は女性の地位向上と教育に尽力された津田梅子。そして千円札は伝染病の研究で功績をあげた北里柴三郎になります。コロナ禍で大きな影響を受けた社会や経済は、現在回復期にあるとはいえ、これからも感染症の危機は続くことでしょう。また、多様性が叫ばれる今日、女性が活躍できる環境づくりは今以上に求められるものだと思います。新札の顔として登場する方々はこうした今の時代にふさわし

く、来年以降の日本経済が発展することを願うばかりです。

今年、北区にある渋沢栄一の資料館に足を運びました。渋沢の理想は何事にも真心を尽くし思いやりを持つという忠恕(ちゆうじよ)、そして多くの力を集めて事業を行う合本主義(がっぽん)です。また、国際間の経済の協調が民心の平和につながることを願い、第一次世界大戦終結後に、創設されたばかりの日本国際連盟協会の会長に就任しました。渋沢の理想は決して色あせることなく、今こそ求められているものだと思います。知恵と真心を集め、来年は平和な日々が続きますように。

狭山市長 小谷野 剛